

科目名	母性看護学概論		時期	時間	単位
担当教員	看護師として5年以上の実務経験を有する専任教員		2年次	前期	30時間 2単位
科目設定理由	妊産褥婦および新生児への看護活動や女性の一生を通じた健康の維持・増進、疾病予防を目的とした看護活動を支える母性看護学において、その基盤となる概念や時代の変遷および母子保健統計等から母性看護の対象の現状を学ぶ。また、対象を取り巻く環境と母性看護に関する組織・法律・施策との関連から母性看護における看護の役割を理解するとともに、女性のライフステージにおける看護とリプロダクティブヘルスに関する問題と看護を理解することを目的に当該科目を設定した。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>母性看護の基盤となる概念を理解する</li> <li>母性看護の歴史的変遷や母子保健統計から母性看護の対象を理解する</li> <li>母性看護の対象を取り巻く歴史的変遷やライフスタイルの変化等と組織・法律・施策との関連を学び、看護職の役割を理解する</li> <li>母性看護実践のための主要な技術を理解する</li> <li>女性のライフステージにおける看護とリプロダクティブヘルスに関する問題と看護を理解する</li> </ol>				
授 業 計 画					
回数	項目	内 容			備 考
1~2	母性看護の基盤となる概念	<ol style="list-style-type: none"> <li>母性とは</li> <li>母子関係と家族発達</li> <li>セクシャリティ</li> <li>リプロダクティブヘルス/ライツ</li> <li>ヘルスプロモーション</li> <li>母性看護のあり方</li> <li>母性看護における倫理</li> <li>母性看護における安全・事故防止</li> </ol>			講義
3~4	母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状	<ol style="list-style-type: none"> <li>母性看護の歴史的変遷と現状               <ol style="list-style-type: none"> <li>母性看護の変遷</li> <li>母子保健統計の動向</li> <li>母性看護に関する組織と法律</li> <li>母子保健に関連する施策</li> </ol> </li> <li>母性看護の対象を取り巻く環境</li> </ol>			講義
5~6	母性看護の対象理解	<ol style="list-style-type: none"> <li>女性のライフスタイルにおける形態・機能の変化と家族</li> <li>母性の発達・成熟・継承</li> </ol>			講義
7	母性看護に必要な技術	<ol style="list-style-type: none"> <li>情報収集・アセスメント技術</li> <li>母性看護に使われる看護技術</li> </ol>			講義
8~10	女性のライフステージ各期における看護	<ol style="list-style-type: none"> <li>ライフサイクルにおける女性の健康と看護               <ol style="list-style-type: none"> <li>思春期の健康と看護</li> <li>性成熟期の健康と看護</li> <li>更年期・老年期の健康と看護</li> </ol> </li> </ol>			講義
11~14	リプロダクティブヘルスケア	<ol style="list-style-type: none"> <li>遺伝相談</li> <li>不妊治療と看護</li> <li>家族計画</li> <li>HIVに感染した女性に対する看護</li> <li>人工妊娠中絶と看護</li> <li>喫煙と女性の健康</li> <li>性暴力を受けた女性に対する看護</li> <li>児童虐待と看護</li> <li>国際化社会と看護</li> </ol>			講義
15	試験	まとめ			
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[1] 母性看護学概論		森 恵美 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 母性看護学[2] 母性看護学各論		森 恵美 他		医学書院
	国民衛生の動向		厚生統計協会		
参考図書・資料等					
評価方法	筆記試験、グループワーク・レポート・出席状況などを総合的に評価する				